

代表質問 (新政会)

■パトリアの破産について

七尾都市開発の破産について！

**質問** パトリア運営会社破産について①出資者として市民に説明責任があるのではないかと。市役所機能を移転して支援を行ってきたのと同じように、同じ役割を担ってきたテナントに対して、救済措置の考えはあるのか。②七尾土地開発の経営状況は把握されていたのか。③本市のパトリア管理費、負担に対する考え。④存続も大事だ。パトリアを継続していくことについて、経済界との協議や連携についての考え。

**答弁** ①パトリアにおける健康福祉部、フォーラム七尾による市民サービス、あるいは事務執行に支障がないように万全を期す。これまで駅前のにぎわい創出に担った役割、今後の動向をしっかり注視して、適切な対応をとっていきたくということ、方向性が明らかになる段階で、法的な制約はあるが、しっかりと関わっていきたくと思う。②毎年、市が出資する法人の経営状況について議長宛に報告している。③テナントが大変厳しい状況に追い込まれている。何とかして手当てをしなければこの思いもあるが、それぞれに弁護士も立てたようで、しっかりとお互いの主張を整理していいところに落ち着ければと思う。④経済界から「よし」と手を挙げて頂けたら嬉しいが、現段階で市として動ける状況でないこと、理解いただきたい。



永崎 陽 議員



パトリア

- 【その他の質問項目】
- 新年度の市政方針について
  - 子ども虐待防止条例制定について
  - 行財政改革について

代表質問 (未来)

■保育行政について

保育園の民営化について！



佐藤 喜典 議員



**質問** 本市においても保育所の民営化が進められている。①行財政改革プランの中でも七尾市の保育園、認定こども園の民営化計画に取り組みと記載がある。保育園の民営化について本市の基本的な考え方を伺う。②民営化について年次計画はいつごろまでに策定する考えか。③法人立保育園も保育士不足という問題を抱えておる。こういった問題解決のために削減された経費を使われることを願うが見解は。④保育士の待遇改善のために給料を上乗せさせているところもある。七尾市においても、このような制度の取り入れや、検討をする考えはないのか。

**答弁** ①民営化の基本的な考え方は、民間活力の導入による延長保育や一時預かり、休日保育の充実である。②現計画は平成31年度末までであり、次期計画については平成31年度中に策定予定である。③民営化で削減された経費については、限られた予算の中で市全体の保育サービスの充実や、さらなる子育て支援策に充当し活用したい。④法人立保育士の給料は本来、国の公定価格による給付費の中で改善が図られるべきであるが、保育士不足解消については、保育士等修学資金貸付制度を広く周知し、働きたい方を支援していく。

【その他の質問項目】

- 当初予算について
- DM00について
- 鳥獣被害対策について
- 河川改修について

代表質問 (灘会)

■地域づくり協議会の法人化とコミュニティセンターの指定管理について

指定管理料の積算根拠は！

**質問** 市内の5カ所をモデル地区として指定管理を実施することになっていくが、この予算の積算根拠を伺う。事務量においても増加し、協議会長の責任の重さも非常に重くなる。協議会長の報酬も含め、どのように考えているのか。また以前には、地域づくり協議会を法人化するにはハードルがあるとの答弁であったが、その法人化のハードルとは何か。

**答弁** 指定管理料の積算根拠はコミュニティセンターに必要な光熱水費、委託料、事務費等を積算している。人件費については、コミュニティ交付金で対応している。協議会雇用などで、増える業務に対応する手当てを従来の予算に追加して積算している。協議会長の責任については、指定管理者制度ガイドラインや仕様書で示すとおりである。協議会の法人化のハードルとは、法人制度でNPO法人、一般社団法人等それぞれに不都合点がある。例えばNPO法人であれば、入会制限がないため他地域から入会は拒めない。一般社団法人であれば、会員となるには入会申し込みが必要で、会員となる住民全員の同意が必要となり、このことが法人化する時の、クリアすべき課題、ハードルと考えている。

- 【その他の質問項目】
- 第2次七尾市総合計画について
  - パトリアの破綻と前途について
  - ななお・なかのDM00について



桂 撤男 議員



能登島コミュニティセンター